

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート							No.	35-2																														
PDCA	主要事業名	新美南吉童話賞事業	部課名	教育部 博物館 新美南吉記念館	担当	竹内	内線	26-4888																														
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策：文化の振興と継承							目標項目（予算計上時に作成）																														
	全体事業期間： 令和 3年度 ~ 3年度 全体事業費等： 3,054 千円																																					
	会計 一般会計 歳出科目：09.05.07.05.01																																					
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： - 千円																																					
	事業概要等	事業概要： 創作童話を広く募集する。自由創作部門と新美南吉オマージュ部門の二部門で募集し、一次・二次審査を経て優秀な作品を表彰する。受賞作品は入選作品集「赤いろうそく」として発刊、全国の図書館や関係各所へ配布する他、記念館で直接販売や通信販売も行う。入選作品とともに南吉童話賞をさらに全国発信していく。																																				
		事業目的： 南吉作品の普及と南吉顕彰を進め、ふるさと半田への関心を高めるとともに、児童文学の振興に寄与する。																																				
		事業内容： 新美南吉童話賞の応募数増を期したPR、情報発信及び入選作品集「赤いろうそく」の充実とともに、将来も持続可能な審査体制の確保に取り組む。																																				
		問題点・課題等： 令和2年度の応募数増加を一過性に終わらせないため、創作の楽しさと南吉作品の魅力さをさらにPRすること、また持続可能な審査体制を確立する必要がある。																																				
	予算額	主要事業とする理由																																				
	3,054 千円	新美南吉記念館の対外的事業として、投入する労力・予算両面において、企画展と童話賞を2本柱としているため。																																				
	財源内訳																																					
	市費	得られる成果																																				
	2,530 千円	多くの方が新美南吉と作品及び南吉のふるさと半田への関心を持ち、児童文学の振興へと繋がる。																																				
	国費	目標値や目指すべき状態																																				
	0 千円	<table><tr><th></th><th>令和元年度</th><th>令和2年度</th><th>令和3年度</th><th>単位</th></tr><tr><td rowspan="2">新美南吉童話賞応募数</td><td>実績値 1,561</td><td>1,966</td><td>1,800</td><td>編</td></tr><tr><td>目標値 2,500</td><td>2,000</td><td>2,000</td><td>編</td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>実績値</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>実績値</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>								令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	新美南吉童話賞応募数	実績値 1,561	1,966	1,800	編	目標値 2,500	2,000	2,000	編		実績値				目標値					実績値				目標値	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																		
新美南吉童話賞応募数	実績値 1,561	1,966	1,800	編																																		
	目標値 2,500	2,000	2,000	編																																		
	実績値																																					
	目標値																																					
	実績値																																					
	目標値																																					
県費																																						
0 千円																																						
その他																																						
524 千円																																						
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果					主要施策の成果報告書で活用	評価項目（決算時に作成）																														
	3,063 千円	応募数は昨年度より減少したものの近年としては高い水準にある。受賞者の地元でも報道され、当童話賞の知名度向上と南吉顕彰につなげることができた。																																				
		成果指標																																				
			令和3年度	単位																																		
	新美南吉童話賞応募数	実績値 1,800	編																																			
		目標値 2,000	編																																			
C 課題の整理	事業の評価・課題	B																																				
		応募数は前年度と比較すると若干減らしたものの、1800編の高水準を維持した。逆に減少していた市内小中学生の応募数はコロナ禍前に近い応募数があり、市内からの入賞もあった。引き続き、市民からの応募数増と審査員の確保が課題である。																																				
A 今後の課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進																																				
		令和5年に迎える南吉生誕110年に向け、応募意欲を刺激するような募集要項の見直しを図る。今後も自由創作部門とともにオマージュ部門の浸透を図り、南吉作品の普及と顕彰に繋げる。第一次・二次審査員とともに、将来に向け持続的な審査体制の確立に努める。																																				
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト 削減余地	ない																																	
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地 ※対象・手段の変更																																		
③休廃止の影響 大きい		⑥類似事業の有無 ない																																				